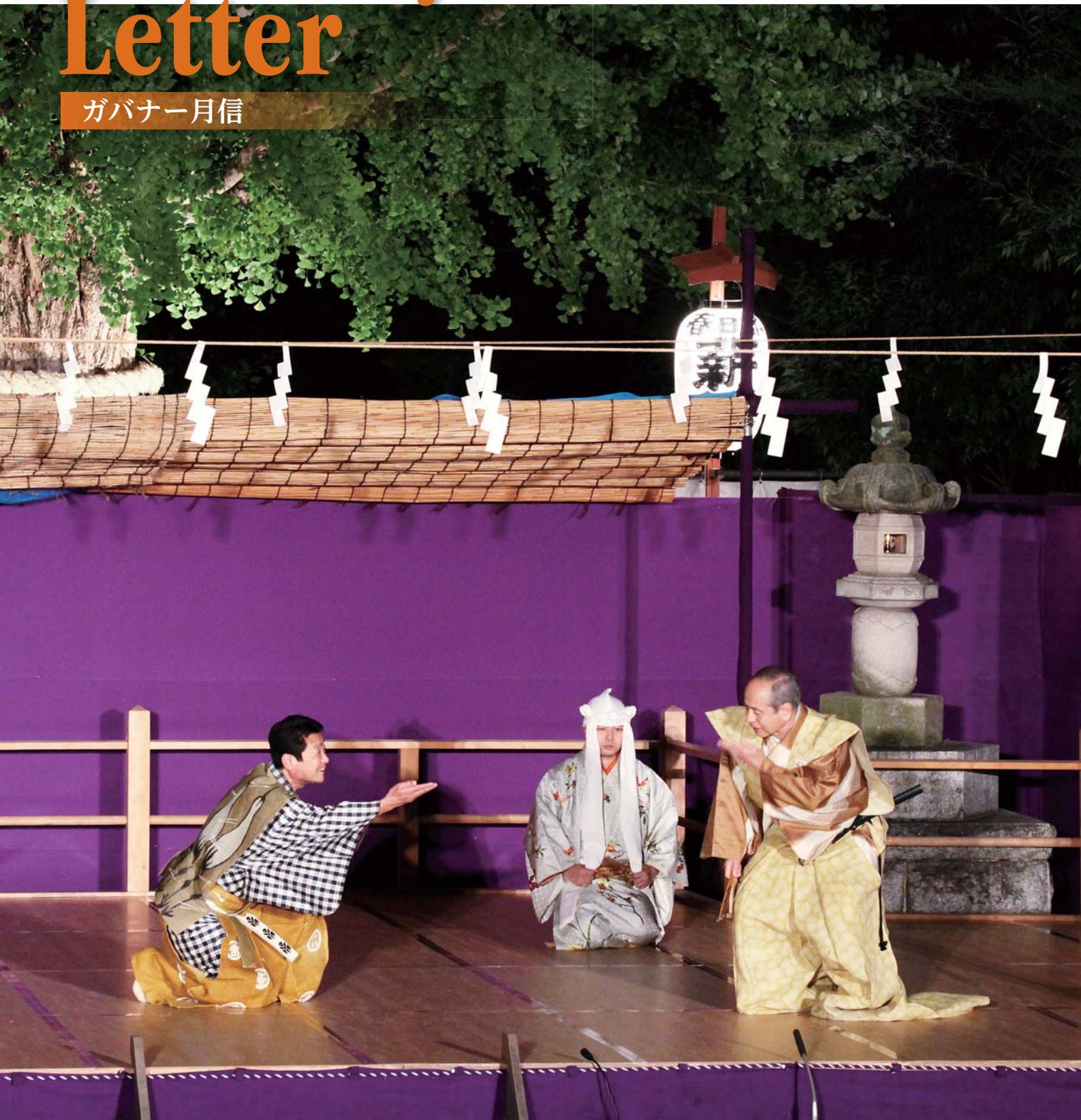


Governor's Monthly Letter

ガバナー月信



2011-’12年度
国際ロータリー第2770地区



2011.10
第4号

国際ロータリー第2770地区
ガバナー 三国 明



〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
エイペックスタワー東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp

◆春日部薪能

昭和57年10月、春日部八幡神社御鎮座650年祭の記念事業として「薪能」が奉納されました。以後隔年ごとに、秋深まる八幡神社境内で、宵闇に包まれた炎が醸し出す幻想的な雰囲気の中、優雅で神秘的な能楽の舞台が、観客を幽玄の世界に導いてくれます。



今月は職業奉仕月間です。

2011-2012年度ガバナー 三國 明

職業奉仕はロータリー哲学の根幹をなす部門で、ロータリーの歴史を形作りロータリーの奉仕活動を現在に至るまでリードしてきました。この方面におけるシェルドンの貢献は多大なるものがあります。決議23-34、職業倫理訓、職業宣言などは職業奉仕にとって文字通りエポックメイキングなものでありました。あらゆる職業の重要性の認識、尊重、高潔性と倫理の維持高揚。まさにロータリー活動の金看板と呼ばれてきた所以です。しかしロータリーの揺籃期における職業奉仕は単なる哲学ではありませんでした。ロータリアン同士の相互互恵的な取引が盛んになされていました。シカゴクラブには当時の取引き記録が残っているそうです。ただし、その取引は委員会から厳しく監視されていました。つまり四つのテストにもとらないようにと言うわけです。しかし、ロータリーに社会奉仕の概念が導入されると、ロータリーの舵取りが大きく変わります。ご存じの通り決議23-34において職業奉仕と社会奉仕のバランスがとられ、ロータリーの奉仕哲学や目的も見直され、再確認されたわけです。この結果が、「最も良く奉仕するもの最も良く報われる」と「超我の奉仕」の二大モットーに結実しました。シェルドンの死後、職業奉仕も受難の時代がありました。1989年職業宣言をもって、国際ロータリーに職業奉仕が復活しました。昨年度の既定審議会において、決議23-34の前段の職業奉仕に関する文章をロータリーの奉仕活動の最も重要な哲学として尊重する由

の議決がされました。ご承知の通り我が2770地区はその共同提案者としての名誉に浴しました。

さて、現代における職業奉仕の骨子は、職業の倫理高潔性を維持し、ロータリアン各自のすべての面の生活にこれを適用し、その職業的技能や知識を掲げて世のため人のために役立てると言うことです。当然、理論や哲学だけではなく身をもって社会貢献しなくてはなりません。この点は決議23-34の後半の部分とも大きく異なります。ましてや、100年前とは大きく変化したと言えるでしょう。そして、手続き要領に記載されているように職業奉仕は個人とクラブの責務となりました。この月間にはロータリーボランティア活動を奨励し、模範的ロータリアンを表彰しましょう。また、職業奉仕の卓話を実施して下さい。特に新世代に対して職業情報の提供、職場体験、職業訓練、就職支援プログラムを実施して下さい。今年度においては特に高卒生のインターン制による就職支援プログラムを立ち上げました。このプログラムは喫緊の社会的ニーズに応えるため、職業奉仕部門、社会奉仕部門、新世代部門のジョイントプログラムとなっております。ロータリアン各位におかれでは趣旨をご理解のうえ特段のご協力をお願いいたします。以上のように、こんにちの職業奉仕は倫理哲学と同時にクラブやロータリアン各自の実践を伴うものです。ロータリアン各自の職業的スキルや知識をもって、世のため人のために奉仕しようではありませんか。

クラブ会長・クラブ幹事の皆様へ

12月は家族月間であり、今年のRI強調事項の1つです。
家族月間に向けて充実したプラン作成を宜しくお願ひします。



職業奉仕とは？



ロータリーとは何かの答えでもある国際ロータリー1923年の国際大会の決議「決議23-34号」。6項から成っていて、以下のロータリーの基本が書かれている。

- 1項. ロータリーとは
- 2項. ロータリー・クラブとは
- 3項. 国際ロータリーとは
- 4項. ロータリーの奉仕とは
　　クラブによる団体奉仕の条件
- 5項. クラブと国際ロータリーの関係
- 6項. クラブの奉仕活動選択に対する条件

第1項（ロータリーとは）

『ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と、義務これに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに、常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕「超我の奉仕」の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである』

この第1項は2010年RI規定審議会において「この第1項をロータリーの奉仕の哲学として定義する」と改めて決議されたものです。この第1項が

職業奉仕部門委員長 青木 伸翁

「職業奉仕」のことを言っているのは明白です。

1908年に「職業奉仕」の理念を持ち込んだ、経営哲学者アーサー・フレデリック・シェルドンが「ロータリー哲学」と題したスピーチの中で「奉仕の原理」Principle of Service とは「調和的かつ利益を産む人間関係の基礎的法則」the basic law of harmonious and profitable human relationshipである。「奉仕の原理」は「愛の法則」のことで、引力の法則と全く同じ「宇宙の自然の法則」であり「人間関係の基礎的法則」であると言い、他者に対する奉仕は愛の尺度であるとも言っている。つまり、我々が行う奉仕は、その根底に人を愛する心、言い換えれば、純粋な「奉仕の心」がなければならないと言っている。

奉仕の原理を職業に適用し、根底に人類愛を持ち、顧客はもちろん、下請け、協力業者、従業員、関係するすべての人々に対し、思いやりの心を持って、純粋な奉仕をすると、そこに、「信用・信頼」が生まれ、企業及び専門職業人に（ロータリアンに）結果として利益がもたらされ、加えて長い間の継続した繁栄をえることができる。

この一連のことを 我々ロータリーでは「職業奉仕」と呼んでいるのである。

会員増強維持について

地区の委員会に初めて参加して、緊張と不安の中、会員増強と会員維持の必要性を非常に強く実感し、RI会長や歴代パストガバナー及び三國ガバナーが会員増強維持に特に熱心に取り組む理由がよく理解できました。会員の減少傾向が続く中、井橋年度で漸く歯止めがかかりましたが、三國年度は次年度RI会長輩出地区として大いなる関心が必然的に寄せられるため、会員増強のステップアップの年度にするという重要な意味があります。この様な重責を担う一員として、私の拙い経験の中から、次の2つを提唱いたします。

1. 「クラブで組織的に実施される地域社会奉仕活動への積極的な参加」

例えば、インタークトや各種支援学校など150名超が参加する教育実習では薩摩芋の苗の植付けから忍耐を要する草取りなどお芋になるまで実習します。講師の説明に青少年たちは熱心に耳を傾け、目を輝かせます。支援学校

会員増強維持委員会委員 宮下 守夫（大宮シティRC）

の方々全員と行うノーマライゼーションとなり交流も深めています。

2. 「国際奉仕活動」

例えば、定期的にカンボジアでの小学校建設・井戸掘り・トイレの新設・学用品の頒布を実施しています。また、歯科医師により100名以上の方々に歯の治療奉仕等を施しています。

こうした地域社会及び国際奉仕活動に参加し、汗を流せばコミュニケーションが生まれ、人間情報の交流となり、増強維持のみならず、クラブ組織の役職ポストの候補となり、役職を遂行する事で人を育てます。一人では出来なくても、グループなら多くの仲間が集まってくれます。これがロータリー活動の優れたところではないでしょうか。しっかり奉仕活動の計画立てて、多くのロータリアン及びロータリーファミリーに知らせ、「仲間と一緒に汗を流す奉仕」をする事が会員増強維持につながるものと考えます。



— 米山記念奨学月間に因んで —

米山記念奨学部門委員長 磯貝 九万 (八潮RC)

日頃ロータリアン皆様の米山記念奨学事業に対し、深い御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様御存知の様に、1952年、東京RCで海外、特にアジア諸国から「優秀な学生」を日本に招き、奨学を支援する奨学事業「米山基金」の構想が発表されました。

「米山」とは、日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏（1868～1964）の事です。米山翁の名を冠したのは、アジア人留学生の面倒を見ていた米山翁の遺志を継ぐ最もふさわしい事業であり、また、何より、その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンたちの強い願いがありました。

1967年文部省（現文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、今年で44年目を迎えます。これまで、世界120か国1万6389人の留学生を支援し、当地区では2010年までに、累計601名を支援し、4月から新たに36名の奨学生を支援致します。これも、当地区的ロータリアン一人一人の御協力の実績によるものです。

昨年の当地区寄付額は一人平均2万2011円で

34地区中第2位と深い御理解を頂きました。本年度も昨年の寄付額をハードルにし活動してまいります。御理解と御協力をお願い致します。

さて、米山月間に因んで、卓話訪問ですが部門セミナーでも報告させて頂きましたが、米山月間だけではなく、80クラブ全てに訪問する準備が整っております。是非プログラムの中に組み入れて頂きたいと思います。9月21日（水）庄和RC、蕨RC様より卓話スタートし、10月末までに30クラブ弱（9月2日現在）卓話依頼を頂きました。地区委員と共に、米山奨学生及び、学友と共に訪問させて頂きます。

この事業の目的は「人づくり」「絆」にあり、その成果は、学友の活躍という形で表れています。東日本大震災後には、世界中の学友からメッセージが寄せられ学友会を中心に総額740万円以上の寄付をしてくれました。奨学生は奨学金の支援だけでなく、人生経験豊かなロータリアンとの出会い、そしてコミュニケーションを築き、日本の文化・習慣・日本人の考え方を知って貰い、日本と世界を結ぶ懸け橋となる様、育ってくれます。母国の発展を願い勉強している学生に卓話の機会を与えて下さい。

宜しくお願ひ致します。

奉仕プロジェクトセミナー 国際奉仕部門分科会報告

平成23年7月23日（土）

国際奉仕部門委員長 隅内 道三 (川口東RC)



分科会冒頭で当部門の現況並びに協調事項の説明後、二つの委員会により以下の内容で分科会が開催されました。

- 国際奉仕委員会では、菊池和彦委員長から、本年度に申請のあった国際奉仕プロジェクト補助金25クラブ（21プロジェクト）の状況が報告され、続いて9月に予定されている国際

奉仕プロジェクト視察研修ツアーフィリピンの参加要請がありました。更に、堀口勝男・伊藤公仁両委員からプロジェクトの事例発表が行われました。

- 国際交流委員会では、鈴木隆委員長から委員会の基本方針の説明に続いて、バンコク国際大会の説明と参加推奨がアピールされた後、姉妹友好クラブ交流の参考事例として、海外クラブ交流事例を幸手RC岩上孝二会員から、国内クラブ交流事例を浦和中RCの小宮康二会員からそれぞれ発表がありました。

新世代部門セミナー報告

ラフレさいたまにて開催

平成23年7月30日（土）

新世代部門委員長 片寄 芳美（越谷南RC）



新世代部門セミナーを開催にあたり会長はじめ会員の皆様にご参加頂きありがとうございました。お陰さまで充実したセミナーが開催でき御礼申し上げます。

「新世代は第5番目の奉仕活動です」をテーマに地区内ロータリアン250名の熱気あふれる会場で三國ガバナーからは、『ロータリーに新風を』を地区テーマに掲げ、特に新世代は明日を担う若者に対する奉仕活動を重点項目にし、若人が未来に希望持てるように、そして将来のロータリーのよき理解者、後継者になってもらう事業に取り組みます。

また、森田新世代部門諮問委員からは、「今までのロータリーの4大奉仕に第5番目の奉仕活動として『新世代』が創設されたことです。この奉仕部門の目的はそれぞれのクラブの奉仕

の理念に、あるいはその実践活動の一つとして青少年と若き成人に光をあてる目的としたものです。」という発表がありました。

新世代部門は5委員会で活動しています。

新世代育成・インタークト委員会

（委員長 原 浩明）

ロータークト・RYLA委員会

（委員長 三上 等）

青少年交換委員会（委員長 松島 勲）

各委員会での感動あふれる事業の発表があり時間にも限りがありましたが午後5時に終了いたしました。



国際奉仕委員会 フィリピン国際奉仕プロジェクト視察研修報告



国際奉仕委員会では、9月1日から5日間、本年度の国際奉仕プロジェクトの支援金贈呈を兼ねた、フィリピン第3800地区を中心とする現地視察を挙行致しました。この視察には委員会メンバーの所属クラブを含め、18クラブから総勢32名が参加されました。空港到着直後から現地ロータリークラブの案内で、数班に分かれて実質3日間にわたる視察が行われました。貧困地域での栄養失調児童や劣悪な環境で学ぶ小学

国際奉仕委員長 菊池 和彦

生との対面を果たした参加者からは一様に、「自分の目で確かめられて良かった」と、感想がありました。



先輩より



クラブの活性化 —例会の充実と会員の自覚—

パストガバナー 藤田 亘弘

少々古い話になりますが、1993年2月、米国アナハイムの国際協議会にガバナー・ノミニーとして出席した折、一週間に亘る会議の冒頭、時のダクターマンRI会長はこんな講話をされました。

暗い夜道に迷い、小川のせせらぎにたどり着きました。その時、灌木から不思議な声が聴こえました。その声は幾つかの丸い小石を拾いポケットに入れようと命じました。いやいやながらいくつかの小石をポケットにおさめました。歩き続けるうちに新しい朝の日差しが見え始めました。ふと、ポケットから小石を取り出しハンケチで汚れをとり、磨くと、何とエメラルド、ルビー、ダイヤモンド、その他宝石でした。もっとたくさん拾っておけばと嘆き悲しました。

小石を拾ったのは縁あってロータリークラブに入会したことであり、ハンケチで小石を磨いたのは例会に出席し、魅力ある充実した例会で研鑽を積むことです。入会の動機は様々でしょう。しかし、その縁は大切なことと考えます。大切なことと考えるからこそ、次の数々のご縁につながっていくものと思います。

会長幹事そして委員長が企画した、より充実した例会に多くの会員が出席するからこそ、更に魅力ある例会に推移するものなのです。1990年代90%以上の地区全体の平均出席率が、昨今83%程に下がっていることは残念なことです。ロータリーはクラブに主体がある以上、例会の充実と会員の自覚と自律(自から律する)の精神が必要だと思います。別の意味でクラブの活性化は、この二つが車の両輪だと……。



信用が力です

パストガバナー 高窪 昭雄

私が青年会議所 (JC) に在籍の頃、ロータリークラブは例会出席が厳しくて大変と言う話は伝わっていました。JC卒業の翌春、先輩の綿貫さん(故綿貫パストガバナー)から履歴書をロータリーの事務局に届けるようにと指示され、結果として1975年4月18日浦和RCに入会しました。入会翌週から早速受付の仕事。クラブの役職は一年交代、与えられた役目に勘弁はなしとの指導で、クラブ例会100%の出席を目指しながら、曲がりなりにもクラブの仕事の一端を担い、いつの間にか生活の中にロータリーの何かが有る今日と成りました。

「ロータリーは人を育てる」と言う言葉が有ります。ロータリーのワンイヤー・ルールの中で会員夫々が仕事を分担し一生懸命に成ればクラブは輝き、地元社会での信用は高く成る筈です。クラブの信用と言うことについて、私のガバナーアイドのクラブの公式訪問に同行いただいた分区代理(現在のガバナー補佐)の方が、クラブ協議会においてご自身の体験をお話されました。

この方が三越でお客さんへのお届け物を買い求め、包装をお願いしたところで財布を忘れたことに気が付いて、店員に改めて出直すと言っているところに主任らしき人が現れ、「どちらのロータリークラブですか」と聞かれて、「お代は後日で結構ですからどうぞお持ちください」と、ロータリーバッジと三越の信用力の高さです。

後輩より



平成21年7月2日入会／第3グループ

クラブの活性化について思うこと

田中 康之 (大宮RC)

自分の人生以上の歴史と伝統を持つ大宮ロータリークラブに入会させて頂いてから、早くも2年が経過しました。

3年目の本年度は親睦委員長を拝命し、会員親睦旅行やクリスマス家族例会など魅力ある例会運営をし、より多くの会員の参加を目標に活動しております。例会出席なくして会員相互の親睦はなく、親睦なくしてクラブ活性化はないという考えのもと、私も様々な活動に積極的に参加し、より多くのロータリアンの皆様と好意と友情を深めたいと思っております。

また是非早期に自分と同年代の若いロータリアンを勧誘し、バランスのとれた会員構成を目標としながら、会員増強の点からもクラブ活性化を図りたいと考えております。今後とも大いにロータリーライフを楽しんでいきたいと思っておりますので、皆様のご指導を頂きます様お願い致します。



平成21年7月8日入会／第10グループ

クラブの活性化について思うこと

渋谷 浩行 (三郷ウエンズデーRC)

ロータリークラブの活性化とは、会員減に歯止めをかけ活動目的である奉仕活動を実践するに足る組織力の充実を図ることであると思われます。ロータリーの綱領の4項目のうち一番に掲げられているのは「奉仕の機会として知り合いを広めること」であります。

つい先日、私の敬愛する先輩ロータリアンが急逝されました。故人は、生前、ロータリークラブの会員増強について、次のように説いておられました。「魅力的な紳士・淑女が集まる魅力的なクラブであれば、自分もそうなりたいと思う人が集まくるものである。ですから、会員はそうあり続けるように、またはそうなるように、研鑽を怠ってはならない。」と。

なるほど、紳士・淑女が集う魅力的なクラブなら、入会したいと思う人も居りましょう。さらに、そのことを世間に知らしめることがより大きな効果を生むのではと思われます。伝える内容は、クラブの活動であり、活動する人々でしょうか。現在でも各種広報活動は実践されておりますが、より強力な取り組みが効果的ではないでしょうか。

第23回インターアクト韓国3750地区訪問報告

国際ロータリー第2770地区 訪韓団々長 井橋 吉一

第23回目の日韓インターアクト交流訪問は韓国から2011年1月8日～13日に訪日されて、日本から3月25日～30日のスケジュールで訪韓予定でしたが、3月11日の東日本大震災の影響で韓国訪問を中止致しました。しかしインターアクトの3750地区との交流は22年に亘り継続しており、再開に向けて顧問教師会の先生と協議した結果、夏休みを利用して7月の訪問を計画しました。そして3750地区の徐聖大ガバナー始め地区役員の方に受け入れについて検討して頂くようお願いしました。ただロータリーは7月に新年度となり地区役員の方も交代するため、関係する地区役員の方に同意を得るのに努力され、協議は時間も掛かりましたが受け入れ了解の返答を頂きました。

そして7月22日～25日の4日間の予定でインターアクト30名、顧問教師3名、ロータリアン8名で訪問しました。私たちは3750地区の徐聖大直前ガバナー始めパストガバナー、前役員、新役員の多くの方に大歓迎を受けました。インターアクトはホームステイを受け入れて頂くロ

ータリアンの家族に歓迎されて家族の皆さんと交流を深めました。さらに今回の訪問で特別なイベントが有りました。津田健三パストガバナー令夫人津田仁美様が今までにホームステイを受け入れた3750地区のインターアクトと交換した手紙を集大成にして「永遠の出会いに」の本を2011年2月に出版されて、今回の訪問を機会に本を韓国語に翻訳して3750地区の方に寄贈されました。そして訪問2日目に3750地区金吉賢パストガバナー主催による出版記念祝賀会が盛大に開催されました。祝賀会は津田仁美様のご挨拶と交流したインターアクトの体験発表などがあって、出席した皆さんは感激の涙を流されて会場は多いに盛り上りました。

最終の帰国日は4日間と例年より短い日程でしたが、温かく受け入れて頂いて多くのインターアクトが別れを惜しみ涙を流す光景を見て、私は3750地区との交流が途絶える事無く継続できた感激と素晴らしい交流プログラムを実感して再認識致しました。

公式訪問レポート（ガバナー公式訪問を終えて）



▶川口西RC◀

例会日：平成23年7月19日（火）

会長：木村 直樹／幹事：伊藤 幸正

7月19日、三國ガバナーをお迎えして公式訪問を開催させていただきました。当日、私（伊藤）が少し早めに例会場に着いたところ、ちょうどガバナーもご自身で車を運転されて到着されました。私は内心「ちょっと早過ぎるぞ～まだ誰も来てないぞ～」と少し焦ったのですがバレないように元気よく「ガバナー、ようこそ！！ありがとうございます！」と挨拶したところガバナーは「いやあ、今日は暖かいね。ちょうどいい」とおっしゃいました。実際は30度以上でものすごく暑い日でしたがさすがお医者さん、

人とは少し違う。いきなりガバナーのペースに巻き込まれました。

例会においてのガバナーの卓話はパワーポイントを使用し、RIテーマ、地区方針等を大変分かりやすく、かつユーモアを加えて説明していただきメンバー全員勉強になったと思います。例会後のクラブ協議会においても、各委員長の発言、質問などに対しての対応も深いロータリーの知識と経験を活かして適切かつ愛情とユーモアのあふれたアドバイスをいただきました。

まだまだ先は長いですが三國ガバナーには健康に留意されガバナーライフを楽しんでいただきたいとお祈り申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

▶川口中央RC◀

例会日：平成23年7月25日（月）

会長：金山 昌明／幹事：齋藤 卓

7月25日（月）三國ガバナーと第12グループ川島ガバナー補佐を御迎えしての公式訪問例会を開催させていただきました。

例会前の懇談会では、クラブの問題点について整理整頓をして取り組むことをご支持いただきました。例会におけるガバナーの卓話ではパワーポイントにてRIのテーマ地区運営活動方針等を分かりやすく熱心に御指導を頂きました。

クラブ協議会では各委員長からの事業計画発表と説明に対してガバナーから適切な御指導、御助言を頂き、更にガバナー補佐より具体的に講評を頂きました。

三國ガバナー、川島ガバナー補佐、御身体を御自愛頂き一年間宜しく御願い申し上げます。



▶吉川RC◀

例会日：2011年7月27日（水）

会長：立澤 利夫／幹事：鈴木 茂光

三國ガバナー、郵田ガバナー補佐をお迎えして例会では、RIテーマ、地区方針を解り易くご説明頂きました。協議会では、各委員長による年次活動計画を発表致しました。ガバナーより一つひとつ丁寧にご指導頂き、「まず、実行してみること」「会員一丸となって活動を展開していく」ということを強く感じさせて頂きました。今後共、ご指導いただけますよう宜しくお願ひ致します。また、健康に留意されご活躍されますことをご祈念申し上げます。



▶春日部イブニングRC◀

例会日：平成23年8月2日（火）

会長：中山 萬生／幹事：長谷川光司

三國ガバナー、田中ガバナー補佐をお迎えし、当クラブの中山会長、坂寄副会長、長谷川幹事を加えて、17時より懇談会をさせて頂きました。

まずクラブの現況と特徴および活動計画について説明させて頂きました。

それに対してガバナーより、とくに広報面に関して、クラブのホームページやインターネットの活用、ブログやFacebook、Twitter等の利用のアドバイスを頂きました。会員増強については、さらに若い人が入会しやすい環境づくりを進めるべきとのお話を頂きました。

例会においてはガバナーより、プロジェクトを使用して卓話を頂きました。RIテーマ『心中を見つめよう博愛を広げるために』そして地区のテーマである『ロータリーに新風を！』について。さらに地区の運営方針、活動方針について、新会員にも解りやすく、丁寧にご説明頂きました。

クラブ協議会においては、クラブ運営に対して、2年後の20周年に向けてクラブの有るべき姿を、より具体的に描いて欲しいとの言葉を頂きました。増強維持については、20周年時に30名を超える目標について、ぜひ必達をと、



檄を頂きました。

奉仕部門については、今期インド3000地区とのグローバル補助金によるプロジェクトの成功、継続事業である“ちびっ子サッカー大会”、および“特別支援学校支援”に対する更なる発展を求められました。また20周年に向けて、インターフラブの設立および友好クラブ締結の計画があることを報告して、激励を頂きました。

三國ガバナーは、昼は杉戸・杉戸中央の合同例会訪問、続けて当クラブと過密なスケジュールで、大変お疲れ様でございました。今後もお忙しいなか健康に留意されましてご活躍されますよう、御祈念申し上げます。有難うございました。



▶川口北RC◀

例会日：平成23年8月3日（水）
会長：谷口 順／幹事：磯 利昭

三國ガバナー、第12グループ川島ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。この時、三國ガバナーはお忙しい公務のなか、お一人で荷物を持参しながら電車にて、わがクラブをご訪問してくださいました。本当に頭が下がる想いでした。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクト、副幹事の4名との懇談では、クラブ現状をご説明して会員増強についてのご指導やクラブが28年続けていたる交換留学生の受け入れなどについてお話をさせていただきました。

例会ではRIと地区の方針を懇切にお話しされ、またクラブ協議会では、各委員会の説明に耳を傾けていただき、丁寧で情熱的なご助言、ご指導していただきました。ただ、残念だったことは、三國ガバナーが公務ご多忙により懇親会をご辞退されたことです。ぜひ、次回はクラブ会員とゆっくりと懇親を深めていただければと思います。

ご訪問頂いた三國ガバナー、川島ガバナー補佐には心より感謝申し上げ、また益々のご健勝をご祈念申し上げます。

▶川口モーニングRC◀

例会日：平成23年8月6日（土）
会長：山口 宣道／幹事：西山 育昌

8月6日（土）三國ガバナーそして第11グループ山本ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催させて頂きました。

例会に先立ち会長、幹事そして次年度会長、幹事、ガバナー補佐を交えて懇談会をさせていただきました。ガバナーからは「クラブの広報を3割は一般向けに作成するといいです。そしてクラブのホームページの更新をまめにしてください。」とのことでした。

懇談会終了後の例会では三國ガバナーにRI会長方針や地区方針をプロジェクトの映像を中心に卓話していただきました。その後のクラブ協議会では、各委員長の報告と今年度の活動方針を発表し、各委員会ごとにガバナーからの講評をいただきました。今年度のクラブ会長の方針で3年末満の理事が3割いますので、1年間頑張ってくださいと激励いただきました。

三國ガバナー、山本ガバナー補佐早朝よりご指導いただきありがとうございました。公式訪問に心から感謝申し上げます。



▶浦和南RC◀

例会日：平成23年8月8日（月）
会長：大広 保夫／幹事：佐藤 志郎

8月8日（月）三國 明ガバナー、第1グループ鈴木 真ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催させて頂きました。

午前11時より三國ガバナー、鈴木ガバナー補佐、クラブより会長、副会長、幹事同席にて面談が行われ、会員減少に伴い、クラブの活性化が失われている現状等を相談したところ、経験豊かなお話を交えて良きアドバイスを受けることが出来ました。

続いて、例会セレモニーに入り、三國ガバナーより卓話を頂戴し、RI会長方針、地区の方針、ガバナー自身の考え方等をプロジェクトの映像を見ながら直接拝聴することが出来、非常に参考になりました。

その後、クラブ協議会に於いては、各委員会の報告に対して適切な講評を頂きましたが、増強に対する方法については、クラブのホームページの中でブログを積極的に利用して「ロータリーとは」「ロータリーとはどんなことを行っているのか」を地域の皆さんに知ってもらうことが、増強の一番の方法ではないか等、色々なアドバイスを受け、最後に鈴木ガバナー補佐より全体的な感想を頂いて協議会を終了しました。

おわびと訂正 月信3号公式訪問レポートで誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。

大宮南西RC

（誤）幹事／橋本 龍彦

（正）幹事／井坂 功



▶ 浦和北東 RC ◀

例会日：平成23年8月9日（火）

会長：石井 孝一／幹事：中川泰次郎

8月9日（火）、三國明ガバナーの早々の公式訪問を賜り、会員一同緊張して、お迎えいたしました。協議会は三國ガバナーとの対話形式で進められ、ガバナーの的確なご指導を頂き、会員とのコミュニケーションが図られ、とても良い協議会となりました。

また、懇親会で、三國ガバナーには、特別に氷川女體神社他、神社関係のお話を頂き、有難うございます。吉田宮司会員にも個人的にお話を来て頂き、感謝申し上げます。

大庭秀夫ガバナー補佐、大変お世話になりました。



▶ 浦和ダイヤモンド RC ◀

例会日：平成23年8月10日（水）

会長：岡 壽賀夫／幹事：清水眞知子

ついにガバナー公式訪問の日がやってきました。朝から緊張しっぱなしです。

三國明ガバナーと鈴木眞ガバナー補佐をお迎えして挨拶の言葉をいただきやっと緊張がとれてきました。例会前の懇談会会場での近状報告では、三國ガバナーよりロータリーは「親睦団体ではなく社会奉仕の団体です」とご指摘を受けました。会社勤めが長かった宴会部長体質を見抜かれているようなご教授でした。東日本大震災に対する当クラブの取り組みについて概要を説明しました。三國ガバナーのご指摘の通り、奉仕団体として実のある実績をあげなくてはなりません。迷いなく実行するのみです。クラブ会員の増強の取り組みについて細やかに色々な事例を出して説明を受けました。当クラブでは5班に分かれて会員増強に取り組んでいる、と報告しました。実績を上げなくてはなりません。ご指導の程、よろしくお願い致します。



▶ 春日部南 RC ◀

例会日：平成23年8月17日（水）

会長：中川 朗／幹事：井上 功

8月17日（水）三國明ガバナー、第6G田中昌男ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問を開催しました。田中ガバナー補佐には、8月3日のリハーサルに続き大変お世話になりました。ガバナーとの懇談会－昼食－例会（卓話）－クラブ協議会「各委員長報告の事業報告・活動状況等の発表」終了後の懇親会。まず、懇談会の中で東日本大震災における友好クラブである岩手県の宮古RCに4月29.30日と支援に行った時の報告。例会では、新会員の入会セレモニーを行い、ガバナーより新会員にバッヂの授与をしていただきました。

また、協議会では、継続事業である市内高校野球大会・水辺の里親事業に春日部東高校インタークトクラブの生徒も参加しているとの報告に対して、新世代の育成に多大な評価をいただきました。講評・ご指導をいただき、誠に有難うございました。



▶ さいたま中央 RC ◀

例会日：平成23年8月18日（木）

会長：河邊 壽郎／幹事：井原 正

8月18日（木）三國ガバナー、大庭第2グループガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ってのクラブ三役との懇談会では、今年度の地区テーマである「ロータリーに新風を」に沿った、ロータリーのありかた、クラブの今後の運営方法等について忌憚のないご意見をいただきました。

ガバナー卓話では、パワーポイントを駆使し、RIのテーマ、地区運営・活動方針等をわかりやすく説明していただき、大変勉強になりました。クラブ協議会では、各委員長の事業計画説明後、講評をいただき、インタークトの積極的な活用等参考になるアドバイスをいただきました。ガバナーの誠実・温厚なお人柄に接し、今後のクラブ運営に一層頑張ろうと決意を新たにいたしました。

大変暑い中、ご訪問いただきありがとうございました。今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

▶大宮西RC ◀



例会時のプロジェクトを使った易しい説明、その後のクラブ協議会では適切な講評、アドバイスをいただきました。特に本年度当クラブでは、各部門の小委員長に1年未満の新入会員を多く起用していますが、三國ガバナーの薰陶にさぞ励まされたことと思います。

長時間に亘る公式訪問、三國ガバナー、久下ガバナー補佐有難うございました。

例会日：平成23年8月18日（木）

会長：高橋 誠一／幹事：渋谷 廣慶
8月22日（月）三國ガバナー、第4グループ久下ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

当日、三國ガバナーは、自ら運転され、懇談会開始予定の一時間前に例会場に到着されガバナーの強い意気込みが感じられました。

当クラブは、親睦旅行、夏休み、そして2日前にはスポンサーとなっている埼玉栄高校IACがホスト校として開催された年次大会後で、いきなり本番の公式訪問でしたが、多くの会員が出席し例会に先立つ懇談、

その後のクラブ協議会では適切な講評、アドバイスをいただきました。

▶八潮RC ◀

例会日：平成23年8月23日（火）

会長：村田 信一郎／幹事：坂入 義完

去る、8月23日（火）に当クラブ例会場、さいたま県信用金庫八潮支店に於いてガバナー三國明様、第9グループガバナー補佐金杉光左生様をお迎えして、ガバナー公式訪問を行いました。面談ではクラブの運営や増強方法について、ロータリーの歴史を重んじつつも、時代の変化や環境の変化に応じた柔軟な対応をしていくことなど、ご指導頂きました。

例会での卓話では、RIのテーマ、地区の運営、活動方針などパワーポイントを使用しながら、丁寧にわかりやすく説明して頂きました。続くクラブ協議会では各常任委員会および各小委員会の事業方針、活動報告に対し分かりやすくご指導頂きました。そして懇談会では、三國ガバナーの貴重な苦学生時代のお話を聞くことができ、そのお人柄に触れることができました。今後、本日受けたご指導をクラブ運営に生かしていくことを思っています。連日の公式訪問でお疲れの中、三國明ガバナー、第9グループ金杉ガバナー補佐には長時間のご指導、誠にありがとうございました。



▶浦和北RC ◀

例会日：平成23年8月24日（水）

会長：戸高 康之／幹事：八木 光雄

前もって準備に追われること1週間、いよいよ三國ガバナーの公式訪問の時が来ました。

これまで長年行われてきた公式訪問のクラブ協議会を、今年はガラリと変え、「どうしたらもっとロータリークラブが良くなるか」との視点でプログラムを組んでみました。

三國ガバナーと直接質疑応答する中で、私はガバナーの素晴らしい人柄に感銘し、尊敬の念を抱きました。これからも2770地区三國ガバナーを中心にして、浦和北ロータリークラブも更に研鑽に努め、レベルアップを図りたいと思わされました。

三國ガバナー、大庭ガバナー補佐、本当にありがとうございました。どうかお身体をご自愛され、今後の活躍を祈ります。



▶大宮シティRC ◀

例会日：平成23年8月24日（水）

会長：伊藤 悟／幹事：加藤 鈴彦

8月24日三國ガバナーそして第3グループ岩崎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催することができました。

三國ガバナーにおかれましては当日2度目の公式訪問というハードスケジュールの中でしたがとてもアグレッシブで元気あふれる印象を受けました。

当日は懇談会に始まり、クラブ協議会、例会と、三國ガバナーにはRIのテーマに始まり、地区の方針や重点項目など沢山のお言葉を賜り会員一同大変勉強になりました。

各委員会の事業計画につきましても的確な助言を頂き、今後の奉仕活動に活かしていきたいと思います。

今回の公式訪問で三國ガバナーのご指導や岩崎ガバナー補佐の総評でもクラブへの期待や沢山のお褒めの言葉を頂きました。その期待に応えられるよう会員一同改めて身を引き締め奉仕活動に邁進したいと思います。

これからも公式訪問が続きお忙しい日々が続くと思います。御身体をご自愛頂き今後益々ご活躍されることを祈念申し上げ感謝の言葉と代えさせて頂きます。

ロータリー財団	大口寄付 14,250 \$ M·P·H·F (13)	大口寄付 11,160 \$ M·P·H·F (6)	M·P·H·F (5)	M·P·H·F (5)	M·P·H·F (5)	
	岡庭 明 (三郷) 平成23年 8月19日	岡村 藤美 (浦和東) 平成23年 8月26日	吉村 雅男 (浦和東) 平成23年 8月26日	村田 瞳幸 (春日部西) 平成23年 8月10日	高崎 英雄 (浦和東) 平成23年 8月26日	清水 伸洋 (大宮東) 平成23年 9月13日
	M·P·H·F (5)	M·P·H·F (4)	M·P·H·F (2)	M·P·H·F (2)	M·P·H·F (2)	M·P·H·F (1)
	山田 宗一 (大宮東) 平成23年 9月13日	宮本 和寿 (岩槻東) 平成23年 8月 2日	熊木 正太郎 (川口北東) 平成23年 8月 3日	斎藤 博 (庄和) 平成23年 8月11日	武笠 章 (大宮北東) 平成23年 8月22日	高橋 竹子 (大宮東) 平成23年 8月29日
	P·H·F	P·H·F	P·H·F	P·H·F	ベネファクター	ベネファクター
宇田川 純 (大宮北東) 平成23年 8月22日	長谷川 秀明 (大宮北東) 平成23年 8月22日	長谷川 未千代 (大宮北東) 平成23年 8月22日	宮下 智世 (大宮北東) 平成23年 8月22日	福田 和子 (大宮南西) 平成23年 8月 5日	吉岡 修 (庄和) 平成23年 8月11日	戸田イブニングRC 創立 5周年記念事業 平成23年 6月27日
米山奨学会	米山功労者メジャードナー(30)	米山功労者メジャードナー(22)	米山功労者メジャードナー(17)	米山功労者メジャードナー(13)	米山功労者メジャードナー(10)	米山功労者メジャードナー(10)
	森田 武司 (大宮北東) 平成23年 8月22日	柏原 政昭 (三郷) 平成23年 8月18日	山田 誠治 (春日部) 平成23年 7月27日	井橋 吉一 (越谷) 平成23年 7月27日	長谷川 廣良 (越谷南) 平成23年 8月 4日	遠藤 隆雄 (岩槻) 平成23年 8月30日
	米山功労者マルチブル(9)	米山功労者マルチブル(6)	米山功労者マルチブル(6)	米山功労者マルチブル(6)	米山功労者マルチブル(5)	米山功労者マルチブル(5)
	溝口 泰男 (大宮南) 平成23年 8月22日	八木嘉奈枝 (大宮南) 平成23年 8月 8日	小川 杠 (春日部) 平成23年 8月10日	本田 守 (上尾西) 平成23年 8月24日	橋本 昭司 (大宮南) 平成23年 9月 8日	飯嶋 隆 (三郷) 平成23年 8月18日
	高田 照久 (大宮東) 平成23年 8月24日					



米山功労者マルチプル(5) 村田信一郎 (八潮) 平成23年 8月24日	米山功労者マルチプル(4) 古谷光夫 (春日部西) 平成23年 8月10日	米山功労者マルチプル(4) 石山謙二 (三郷) 平成23年 8月18日	米山功労者マルチプル(4) 大塚章司 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(4) 武笠章 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(4) 北西功 (上尾西) 平成23年 8月24日	米山功労者マルチプル(3) 尾堤信男 (春日部) 平成23年 7月27日
--	---	---	---	--	---	--



米山功労者マルチプル(3) 龍前篤司 (大宮南) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(2) 中村清治 (上尾北) 平成23年 8月12日	米山功労者マルチプル(2) 宇田川初夫 (三郷) 平成23年 8月18日	米山功労者マルチプル(2) 伊藤宏 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(2) 井尻修 (八潮) 平成23年 8月24日	米山功労者マルチプル(1) 草彌博昭 (三郷) 平成23年 8月18日	米山功労者マルチプル(1) 坂下昇平 (三郷) 平成23年 8月18日
--	--	--	--	--	---	---



米山功労者マルチプル(1) 高木智津子 (三郷) 平成23年 8月18日	米山功労者マルチプル(1) 滝口秀雄 (三郷) 平成23年 8月18日	米山功労者マルチプル(1) 長谷川秀明 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(1) 長谷川未千代 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(1) 宮下智世 (大宮北東) 平成23年 8月22日	米山功労者マルチプル(1) 新井秀雄 (川口) 平成23年 8月25日	米山功労者マルチプル(1) 白井靖 (川口) 平成23年 8月25日
--	---	--	---	---	---	--

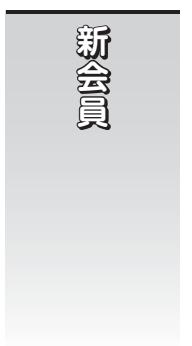


寺山樹生 (川口) 平成23年 8月25日	吉成幸男 (川口) 平成23年 8月25日
------------------------------------	------------------------------------



土谷一光 (杉戸) 平成23年 7月12日入会 保健連東京連合会 団体保険	田中修 (大宮シティ) 平成23年 7月13日入会 田中商店 ガソリンスタンド	田中政司 (蓮田) 平成23年 7月13日入会 田中電気安全管理事務所 電気管理	田原春夫 (蓮田) 平成23年 7月13日入会 株九重建設 建築一般	松野朝男 (蓮田) 平成23年 7月13日入会 株商工葬祭 葬祭	小倉伊知郎 (川口) 平成23年 7月21日入会 ㈱ライフプラザパートナーズ 総合保険代理業
--	--	---	---	---	---

新会員





田中徹夫パストガバナー感謝状を授与の報告

(財)ロータリー米山記念奨学会監事 坂巻 幸次

当地区を代表して財団法人ロータリー米山記念奨学金の2009年～10年の2年間理事としてご活躍されたパストガバナー田中徹夫様が、その仕事を終えられて退任されました。

去る、8月30日午後1時開催の理事会で財団法人の理事長板橋敏雄氏から感謝状を受付されました。2年間の重責をはたされた田中PG大変ご苦労様でした。心より感謝申し上げます。



文庫通信 (288号)

◆ ガバナー月信と新着文献より ◆

- ◎「『現代社会とロータリー』—クラブと会員はどうあるべきか」上野操 2011 1p (D. 2580月信)
- ◎「ロータリーの綱領について」川野正久 2011 2p (D. 2590月信)
- ◎「『親睦と奉仕の調和』ロータリー思想の原点」織田吉郎 2011 1p (D. 2790月信)
- ◎「『利己と利他の調和』の哲学—『東洋の実業倫理』」亀井義弘 2011 2p (D. 2670月信)
- ◎「自他の関係と奉仕」桑月心 2011 1p (D. 2630月信)

- ◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動をしよう『親睦活動月間を考える』」崎山武夫 2011 1p (D. 2610月信) [上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎「わかりやすいロータリー 改訂第4版」D. 2650 2011 70p [申込先:渕上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「奉仕の原則と保全の法則(1929年出版)」アーサーFシェルドン著 田中毅訳 2011 103p [申込先:田中毅 FAX(06)6491-9899]

ロ
文
一
タ
リ
ー
庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時
休館=土・日・祝祭日

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在 内女性	当月末会員数 内女性	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位	当月 出席率 順位
						増減	出席率 順位		
第一グループ	浦 和	101	0	99	0	-2	5	0	86.86 59 40
	浦 和 東	78	2	80	2	2	3	2	88.69 7 12
	浦 和 南	29	0	29	0	0	3	0	93.52 5 3
	浦 和 中	36	2	36	2	0	5	0	91.94 16 10
	浦和ダイヤモンド	20	11	19	11	-1	2	0	98.68 20 1
	第1グループ計	264	15	263	15	-1	18	2	91.94
第二グループ	浦 和 北	70	3	72	3	2	10	2	92.39 12 7
	さいたま中央	45	1	45	1	0	3	0	82.22 44 45
	浦 和 西	20	3	20	3	0	4	0	75.34 39 56
	浦 和 北 東	42	1	43	1	1	6	1	79.04 66 68
	さいたま新都心	40	0	40	0	0	4	2	92.50 10 6
	第2グループ計	217	8	220	8	3	27	5	84.30
第三グループ	大 宮	52	0	53	0	1	10	1	82.02 58 50
	大 宮 南	35	5	38	5	3	5	4	78.94 56 57
	大 宮 中央	48	0	48	0	0	5	0	80.85 71 64
	大 宮 南 東	7	2	10	2	3	3	4	78.00 65 65
	大 宮 シティ	62	5	63	5	1	8	1	80.56 57 53
	さいたま 榴	21	0	21	0	0	3	0	82.14 67 61
第四グループ	第3グループ計	225	12	233	12	8	34	10	80.42
	大 宮 西	66	0	68	0	2	20	2	90.49 47 28
	岩 槻	29	4	29	4	0	2	0	67.82 80 80
	大 宮 北	22	1	22	1	0	3	0	91.18 29 19
	大 宮 南 西	9	1	9	1	0	2	0	70.36 73 75
	大 宮 東	36	0	38	0	2	5	2	79.40 14 32
	岩 槻 東	29	1	29	1	0	3	0	81.03 38 43
	大 宮 北 東	16	2	16	2	0	3	0	87.00 13 16
	岩 槻 中央	14	0	14	0	0	1	0	78.56 52 55
	第4グループ計	221	9	225	9	4	39	4	80.73
第五グループ	上 尾	39	1	39	1	0	3	0	95.73 26 13
	鴻 巣	27	0	27	0	0	3	0	89.81 6 9
	桶 川	22	0	22	0	0	2	0	65.36 72 77
	上 尾 西	41	0	41	0	0	5	0	83.44 21 30
	北 本	8	0	8	0	0	2	0	82.50 36 38
	上 尾 東	19	0	19	0	0	2	0	85.53 54 41
	上 尾 北	27	0	27	0	0	3	0	92.42 15 8
	鴻 巣 水 曜	31	3	31	3	0	3	0	80.17 70 65
	桶川イブニング	16	0	16	0	0	2	0	74.38 77 76
	第5グループ計	230	4	230	4	0	25	0	83.26
第六グループ	春 日 部	41	0	41	0	0	5	0	88.30 8 14
	杉 戸	26	1	27	1	1	2	1	87.96 75 51
	春 日 部 西	35	2	34	2	-1	3	0	70.70 62 73
	庄 和	19	0	21	1	2	1	2	87.26 11 15
	春 日 部 南	28	4	30	4	2	5	2	73.84 74 74
	春日部イブニング	22	1	22	1	0	3	0	88.33 49 34
	杉 戸 中央	24	0	24	0	0	2	0	79.17 69 69
	第6グループ計	195	8	199	9	4	21	5	82.22
	地区合計	2504	129	2530	131	26	325	42	82.91

※会員数及び出席状況の報告は翌月の15日までにお願いします



2011~12年度 国際ロータリー第2770地区 地区大会のご案内

■第一日目 11月12日（土）

会場：浦和ロイヤルパインズホテル

各種委員会

11:00 開会 11:30 閉会

本会議

11:30 登録開始
12:30 点鐘
↓ 会議
15:50 地区指導者育成セミナー
講師 RI会長代理・南園義一氏
「ロータリーの奉仕活動
—プログラムからプロジェクトへ—」
16:50 点鐘

RI会長代理歓迎懇親会

17:20 受付開始
17:50 会場オープン
18:10 RI会長代理ご夫妻入場
開宴
↓ 祝宴 「タイ舞踏」他
20:00 閉宴

■第二日目 11月13日（日）

会場：春日部市民文化会館

RI会長代理を囲む昼食会

11:00 開会<春日部エミナース>
11:50 閉会

本会議

11:30 登録開始<春日部市民部文化会館>
12:00 開演
12:20 春日部共栄高校プラスバンド演奏
12:50 RI会長代理入場
13:00 点鐘
↓ 会議
16:40 豊春中学校 合唱
17:00 講演
杏林大学名誉教授 田久保忠衛氏
「激動する国際情勢と日本」
18:36 点鐘

懇親会

19:00 開宴
20:00 閉宴

来る11月12日（土）、13日（金）両日、国際ロータリー第2770地区の地区大会が開催されます。会場は第一日目は浦和のロイヤルパインズホテル、第二日目は春日部市民文化会館となります。

三國明ガバナーの掲げる大会テーマ「ロータリーに新風を」のスローガンのもと、第2770地区の2500余名の会員諸兄が集合し、カルヤン・バネルジーRI会長の目指す「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のメッセージをうけ、今期の活動理念を共有して今後の活動を展開してゆく大切な会議となります。

去る3月11日に起きた東日本大震災の被災地の方々を支援するため、会場内に福島県の物産展ブースを開設する他、諸活動を実施する予定です。

第一日目は、地区指導者セミナーとして、RI会長代理南園義一氏による「ロータリーの奉仕活動—プログラムからプロジェクトへ—」の講演があります。又、第二日目には、全国大会また世界で活躍する春日部共栄高校プラスバンド部の演奏や、地元春日部市立豊春中学校合唱部によるさわやかな合唱、三國明ガバナーが所属する春日部西ロータリークラブが社会奉仕事業として継続活動中の、小学生のちびっ子たちによる沖縄エイサー演舞で皆様をお迎えします。その後、「激動する国際情勢と日本」を演題に杏林大学名誉教授田久保忠衛氏による講演を開催（一般開放）いたします。

年に一度、地区内全クラブの会員皆様が集う大会です。ロータリー活動の原点を再認識する機会ともなりますので、ふるってご参加下さいますようご案内申し上げます。

10月のスケジュール

曜日	10月		曜日	10月		曜日	10月		曜日	11月	
土	1		火	11	大宮北	金	21		月	31	
日	2		水	12	川口南	土	22		火	1	上尾東
月	3		木	13	上尾	日	23		水	2	川口むさし野
火	4	岩槻東	金	14		月	24		木	3	文化の日
水	5	越谷北	土	15		火	25	蕨 草加／草加中央／草加イブニング	金	4	
木	6	鳩ヶ谷	日	16		水	26	鴻巣水曜	土	5	
金	7		月	17		木	27	久喜菖蒲	日	6	
土	8		火	18	さいたま櫻／大宮南東	金	28		月	7	
日	9		水	19	大宮東	土	29		火	8	桶川イブニング
月	10	体育の日	木	20		日	30		水	9	

(注) 上の段は昼間の例会 下の段は夜間の例会